

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2013年 No.310

発行：埼玉協同病院
〒333-0831 川口市木曽呂1317
Tel.048-296-4771
Fax.048-296-7182

8

おもな記事●認定看護師シリーズ⑧/
大学習会 肥田泰医師の講演を聞いて
健康マメ知識／虹の投書箱／連絡バス時刻表

診療科紹介 精神科

心理的側面から、安心で適切な 医療を患者様に提供します

組合員の皆さん、こんにちは。

「はじめまして」の方も多いと思います。

精神科は常勤医師2名、非常勤医師1名、看護師5名(保健師を含む)、精神保健福祉士1名、社会福祉士1名、作業療法士1名で構成されており、それぞれのスタッフが役割を分担しながら業務にあたっています。

現在、当科は完全予約制となっており、初診の受付は医療福祉相談室で行っています。ご相談後、2週間以内の診察を心がけていますが、時期によって1カ月近くお待たせしてしまうこともあり、ご迷惑をおかけしています。毎月の延べ患者様数は約1000名。耳鼻科とほぼ同じ人数です。「敷居が高い」「なんとなく怖い」と思われがちですが、当院ではうつ病、不安障害やパニック障害などの神経症、ストレス関連障害、認知症などの患者様が大部分を占めており、一般の精神病院に比べて、軽症～中等症の患者様が多いのが特徴です。他科との併診が可能であるため、基礎疾患をお持ちの方や高齢の方でも安心して受診いただくことができます。

また、当科では、患者様の社会復帰を支援するため、精神科デイケアを併設しています。常時体験利用を受け付けていますので、「働きたいけど自信がない」「人間関係に不安を感じる」という方は、ぜひご利用ください。



雪田慎二副院長(左から3人目)・荻野マリ工副院長(右から3人目)と精神科スタッフ

当院は埼玉県南部における地域医療・救急医療の一端を担っており、401床ある入院病床は連日ほぼ満床となっています。入院患者様の中には、病気や入院生活に対する不安から心のバランスを崩してしまったり、以前からの心の病を悪化させてしまう人も少なくありません。すべての患者様が安心して適切な医療を受けられ

るように、私たち精神科は心理的側面から積極的な介入を行っています。「眠れない」「気分が落ち込んで治療に集中できない」など入院生活に不安を抱えている方は、主治医または病棟スタッフにご相談ください。担当スタッフが病棟までお伺いします。

(精神科副院長 荻野マリ工)

原水爆禁止2013年世界大会 in 長崎に参加します!

私はこの平和な日本で、過去のようなひどい戦争はもう起こらないのではないかと考えているところがありました。しかし、日本周辺の核実験やミサイル発射の問題、今話題になっている憲法改正については、憲法9条が変えられて「国防軍」が創設されるということなどを聞いて、他人ごとではないと感じています。

また、患者様の命と健康を守る私たち医療従事者にとって、戦争は最悪の行為だと

思います。日本と世界が平和に過ごしていくためには、平和憲法が絶対に必要だと思います。

今回、原水爆禁止2013年世界大会に参加することになりました。被爆の実態を知ることが平和活動での原点だと思います。

長崎での被爆の実態を見聞きし、職場の仲間や組合員の皆さんに知らせていきたいと思っています。

(薬剤科 高松奈々子)



参加者全員で、平和活動の原点を学んできます



原水爆禁止(2013年)世界大会参加者への事前学習会を行いました

予防接種の案内

麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)が、全国的に不足しています。そのため予約をお受けできないことがあります。ご理解の程、お願いいたします。

外部研修を終えて

地域の子どもたちのために 小児科医療をささえていきたい

私は2001年4月に当院に入職後、初期研修を経て小児科研修を始めました。2005年に埼玉医大総合医療センターで研修した後、2006年度から当院で発達外来を担当してきました。その後より専門的な力量をつけるために、2010年4月から2年間、急性脳炎・脳症やてんかん（特に難治性てんかん）、脳性麻痺、先天的な異常などの神経疾患の研修をするために、東京都立小児総合医療センター神経内科で研修を行いました。

研修先は高次医療機関であり、当院では経験したことのない稀な疾患・重篤な状態の児が多数来院され、大変勉強になりました。当院が地域で求められる役割は研修先と違い、研修先で行った医療をすべて実践することは不可能ですが、この経験を日常の診療にいかして、地域の小児科医療をささえていきたいと思えます。

最後になりますが、小児科医の仕事は多岐にわたりますが、「子どもたちが健全に成長発達するのをお手伝いする」ことが目的です。その

ためには疾患の診断治療、救急診療も重要ですが、予防接種や乳児健診、さまざまな育児支援も重要です。研修に出て、当院の保健予防分野の充実も実感することができました。この地域の小児がすくすくと成長発達するためのお手伝いを日常外来だけでなく、さまざまな場面を通じて行っていきたいと思っております。今後もよろしくお願ひいたします。



小児科科長
荒熊 智宏

シリーズ 医療の質の改善 ② 最期まで安心して自宅で生活するために

当院では、医療の質を定量的に測るための指標を300以上設定しています。測定値をもとに課題を明らかにして改善策をたてたり、実行したことが改善にむすびついているかどうかを確かめることによって、継続的な改善を図るためです。今回は、在宅医療の質改善のとりくみについて、紹介します。

当院は、病院開設当初から訪問診療を行っています。ここ10年ほどで、何らかの医療処置を行いながら介護される方や、がんや高齢終末期の方も増えています。

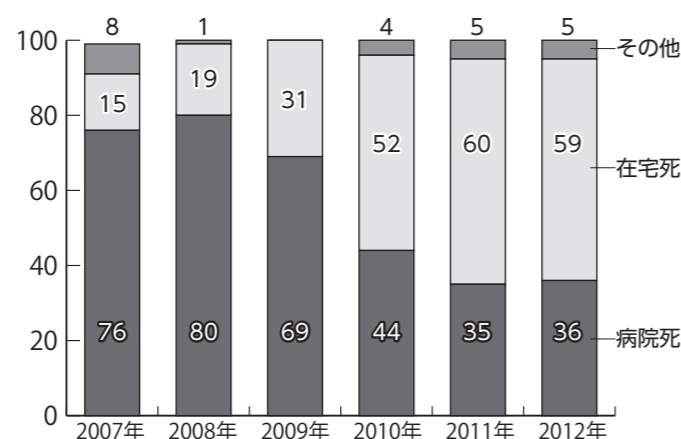
人口動態調査では、1980年を境に病院で看取る方の割合が増え、約8割にも及んでいます。しかしながら、今後超高齢化社会で「多死時代」を迎える日本で、病院数は減少し、いわば「看取る場所のない」方が2030年までに倍増するであろうと推定されています。一方で、ある調査では、「住み慣れた自宅で死にたい」という人が7～8割というデータも出ています。

2008年には、訪問診療を行っている患者様の85%の方は病院で最期を迎えられましたが、こ

こ2年間で在宅死は約6割にまで増加しています（図1）。訪問診療を開始する際に、ご自宅で最期のときを迎える場合の不安や疑問におこたえする中で、最期までご自宅で生活したいと希望される方の割合も増えてきました（図2）。

「自宅で亡くなると警察が介入してくるのではないか」「亡くなる時に苦しむのではないかな」などの多くの疑問に1つ1つお答えしながら、苦痛を緩和し、ご本人、ご家族を支援してきた結果と受け止めています。また、在宅で支える

図1 死亡場所割合（%）

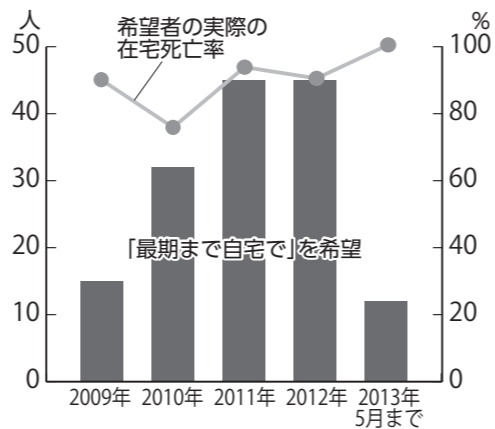


訪問看護や介護支援事業所とも打ち合わせを密にし、患者様の情報を共有しています。2011年度に在宅で亡くなった方26名のご家族にアンケート調査をした結果も、全員の方に「自宅で看取れて良かった」とお答えいただきました。

核家族化が進む中、地域のコミュニテイを広げ、住み慣れた場所で「生きていて良かった」と思えるような支援を今後も続けていきたいと思えます。

（診療情報部）

図2 「最期まで自宅で」を希望された方のうちご自宅で亡くなられた方の割合



当院と医療連携している 開業医さんのご紹介 井本医院



中川 千秋先生

昭和39年に父が開業して以来、地域医療の最前線として、地元に基づいて診療を続けてきました。患者様の話をしっかり聞くことと、丁寧な病状説明を心がけています。大人から小児の患者様まで幅広く診療しております。女性医師なので、婦人科や乳がん検診では遠方からも女性の患者様が来院されます。

患者様の負担の少ない超音波検査（エコー）で頸動脈の動脈硬化の判定や甲状腺、腹部臓器（発見しにくい脾臓の腫瘍チェックなど）、婦人科、泌尿器科に至るまで早期発見を心がけ、精査を必要とする場合には他院への紹介を進めています。

埼玉協同病院には地域の救急病院として、どんな時間帯でも入院が必要な患者様の受け入れをしていただけるよう、これからも期待しております。

院長：中川 千秋



【診療科】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:30	○	○	—	○	○	○*	—
午後15:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—

*土曜日の午前は12:00終了
【診療科】内科、小児科、皮膚科、婦人科
【休診日】水曜日、土曜日の午後、日曜日

*「ふれあい」に掲載の開業医さんを受診される際は、受診前に必ず問い合わせをお願いします。

大学習会

肥田泰医師の 講演を聴いて



埼玉民医連60周年を記念して、7月6日（土）にふれあい会館で大学習会が開催されました。浦和民主診療所所長の肥田泰医師を講演者に迎え、170名を超える職員や組合員さんが講演を聴きに集いました。

「患者様の立場に立って親切でよい医療」を地域住民に提供するために、埼玉民医連を結成したそうです。肥田医師は、「組織において、人を育成していくことがとても大事である」とおっ

しゃいました。無差別、平等な医療を実現しようと尽力されてきた諸先輩の歴史を胸に、地域の方のお役に立てるよう精一杯努力し成長していきたいと思えます。

（産婦人科病棟助産師 北條 正子）

小児科外来に キッズスペースを 作りました



日頃より患者様やご家族様より要望のありましたキッズスペースを設けました。

「子どもたちに良い本を読んで本に慣れ親しんで欲しい」と思い、本を中心としたスペースになっています。

本は、受診に付き添って来院されたご家族様から寄付していただきました。

利用している子どもたちは、とても楽しんで待ち時間を過ごしています。

元気良く走ってしまう子、本を投げちゃったりする子もいますが、子ども同士仲良く遊んでいます。

また、ご家族様からは子どもを床に降ろせるスペースができて助かったなどの声も聞かれています。

今後も患者様とご家族様のニーズにおこたえできるように努力していきたいと思えます。

（看護師 浅沼 陽子）

親切で、きめ細かく迅速な対応に感謝しています

3月末より開設した緩和ケア病棟にご入院中の患者様のご家族の方から寄せられました

問 父ががんで入院しています。職員の皆さんが親切で、きめ細かく迅速な対応をしていただき感謝しています。世の中では病気が診るが患者を診ないという話も聞きます。患者さん一人ひとりに温かな声かけと生きる力を育むための行動力があり素晴らしい病院です。病気のことメンタルのことと考えていただきありがとうございます。職員の皆さんもお身体を大切になさってお仕事をつづけてください。

答 ご家族様の療養にあたり大変な思いをされていることとお察しいたします。そのような中で、私たち職員にとって励みになるお便りや頂戴しありがとうございます。緩和ケア病棟では、患者様の身体や心のつらさを和らげ、ご家族と少しでも長く穏やかに過ごせる時間を作れるように支援しています。患者様が希望されるケアができるよう、スタッフ一同日々研鑽してまいります。

回答者：安藤美智子（緩和ケア病棟看護長）

虹の 投書箱 だよ



第140回

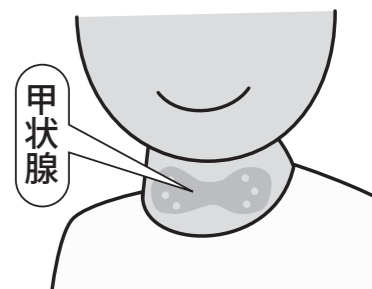
● 検査データの見方 TSH編 ●

TSH (thyroid stimulating hormone: 甲状腺刺激ホルモン)、下垂体前葉より分泌され、甲状腺ホルモンの分泌を調節しています。TSHの血中濃度は甲状腺機能の変化を敏感に反映するため、甲状腺疾患の最初の検査としてきわめて重要な役割を果たします。TSH値の異常があればまず甲状腺疾患を疑い、甲状腺の異常が明らかでなければ、下垂体一視床下部の疾患を考えていきます。

基準値は0.4~4.0μIU/mlです。TSHが高値を示す代表的な疾患は橋本病

その他の甲状腺機能低下症、低値を示す代表的な疾患はバセドウ病をはじめとする甲状腺機能亢進症などがあります。

TSHは日内変動（1日のうちでの検査値が変動すること）があり夜間は昼間の値の約2倍になります。



ボランティア活動

七夕〜患者様・組合員さんの 願いを短冊にこめて

ご近所の組合員さんより竹を譲っていただき、病院の正面玄関や病棟へ笹を配布しました。

笹の飾り付けを行い、患者様や組合員さんからの色とりどりの短冊が華を添えてくれました。今後も、季節にあわせた活動を行っていききたいと思います。

（ひとつぶの会）



埼玉協同病院は エコライフDAYに 取り組みました

6月9日（日）にNPO法人川口市環境会議からの依頼にて、川口市のエコライフDAY2013に取り組みました。

今回は、急な呼びかけとなってしまいましたが、参加人数は目標としていた500名を超えて509名（職員家族含む）の参加となりました。しかしCO₂削減量は500,000gを目標としていま

したが、わずかに届かず491,128gでした。

またさまざまな感想や節電への提案などが寄せられたので今後の節電対策にいかしていきたいと思えます。



（省エネ推進事務局）

